

教育長定例記者会見 会見録

日時：令和4年7月8日（金）15時00分～

場所：教育委員室

発表項目

- ・ オンラインを活用した不登校生徒の居場所づくり事業に取り組みます

質疑事項

- ・ 令和5年度三重県立高等学校入学定員について
- ・ 令和5年度三重県立高等学校入学者選抜に関する各高等学校別実施要項について

発表項目

○ オンラインを活用した不登校生徒の居場所づくり事業に取り組みます

オンラインを活用した不登校生徒の居場所づくり事業に取り組むというものです。三重県教育委員会では、不登校の状況にある中高校生、休学している高校生、中途退学した高校段階の子どもたちが、他者や社会とつながろうとするきっかけを得ることができるよう、安全安心に、他者と交流できるオンライン上の居場所を創出しようとするものです。

期日は第1期として7月26日から9月29日までの火曜日と木曜日の祝日を除いた部分です。火曜日については10時から12時までは対象が中学生、13時から15時までは対象が中学生と高校生等で、木曜日は10時から12時までは対象が高校生等、13時から15時までは対象が中学生と高校生等で、第2期以降は、今回の状況を踏まえて、改めて決めてまいります。

対象者はご覧のとおりで、内容については大学生が進行役となって、いろんなテーマについて一緒に考えたり、チャットや音声で対話したりします。場合によっては、参加者の希望も踏まえ、交流の機会も検討いたします。それから、その他のところで参加者の状況と、必要な事項については、そこに記載のとおりです。申込については、参加希望日の3日前までに名前住所等を、入力していただいて申し込んでいただくことになります。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

発表項目に関する質疑

○ オンラインを活用した不登校生徒の居場所づくり事業に取り組みますについて

（質）現時点で参加申し込みとかは。

（答）今からですので。これから、きちっと広報してまいります。

（質）広報を始めるのは、いつごろどういったサポートで。

（答 生徒指導課長）広報は、学校へは今日周知いたします。市町の教育支援センターにつ

いても、来週の頭から周知してまいります。

(質) 11日から。

(答 生徒指導課長) はい。

(質) 広報とかに掲載したりしないのですか。

(答 生徒指導課長) 今のところ、広報については予定がないです。

(質) 学校とか教育支援センターに周知した後は、施設ごとに、対象者の方に周知してくださいということですか。

(答 生徒指導課長) そういうことです。

(質) こないだ発表のあった実際のリアルの場所で始められた県立教育支援センターのオンライン版を別にやるということですか。

(答) そうです。別にさせていただきます。今リアル版をやっているのですけれども、やっぱりなかなかそういったところが苦手であったり、遠かったりということもありますし、不登校の生徒さんにとって、同世代の子であったり、他者とつながるきっかけを、今いろんな形で創りたいということで、少しこれは遅れましたけれども、7月26日からさせていただきますと思っています。

(質) これは、こないだのリアル版をやるとなると、例えば問い合わせで、行きたいけどちょっと遠かったり、活動に参加したいけどちょっとリアルの場合は怖いとか、そういう声があったりしたことを受けて行うのですか。

(答) 元々ですね、今年度の予算にも計上しておりまして、いろんな仕組みとかを少し検討していて、この時期、7月26日から実施をさせていただくというものです。

(答 生徒指導課長) 広報についてなんですけれども、先ほど高校と申し上げたんですけれども、中学生も対象ですので、市町教育委員会にも今日発出する予定です。それから教育支援センターについては、日程調整をしておりますので、7月11日月曜日以降に、こちらから周知したいと思います。

(質) 中身としては、リアルでやることと同じように、学習指導もあって、レクリエーション的なこともあってということですか。

(答) 学習指導を全くしないということではないのですけれども、このオンラインの場合は、それよりも、3番の内容に書いてあるような、まずは、中高生の興味関心があるような、音楽であったり、スポーツのジャンルであったり、そういったものについて、一緒に意見を言ったり、考えたりというようなことを中心にさせていただこうかなと思っています。

もちろん、学習に関わるものとか、読者に関わる部分とか、そういったことで意見交換したりするということがあります。

(質) まずは、人と接するということですか。

(答) そういう機会を、同世代の生徒さんと関わり合える機会を、まず、第一に考えております。

その他の項目に関する質疑

○ 令和5年度三重県立高等学校入学定員について

(質) 高校の入学定員は今日、これは確定ということですか。

(答) そうです。今、資料提供させていただいたと思うのですけれども。

(質) ちょっと減ったのですよね。

(答) そうです。

(質) 6学級というのは白山高校の1学級と、尾鷲高校が・・・。

(答) 1ページに、240人の内訳があります。増えたところもありますので。240人ということで、地域によって今の中学3年生の人数が今の高校1年生に比べて、増減がございましたので。

(質) その数字を教えてもらっていいですか。卒業生見込み数は。

(答) 募集定員総数として、10640人ということで、令和5年度の全日制過程の人数です。それが前年度比240人の6学級減で10640人ということです。それで、中学卒業者の推移は、今ご覧いただいている資料の6ページに、生の数字なのですけれども、桑名、四日市とその網掛けになっているR5年3月の現中3というところを見ていただきますと、桑名でしたら4人増、四日市でしたら216人減となっております。

(質) 県内合計は、16044人が卒業見込みなのですね。

(答) そうです。

(質) 前年度より200人少ないのですね。

(答) そうですね。卒業者としてはそういうことです。

(質) 学級数が減った学校というのは、何か特徴があるのですか。

(答) 学級数が減った学校というのは、さっき申し上げましたけれども、地域の、例えば四日市でしたら四日市地域の卒業見込みが減ることと、その地域における中学生の希望状況とか、この今の高1生とかが入った時の欠員状況とかも含めて、トータルを見ながら、どの学校を減じたり、どうするというのを決定いたしましたところ です。

(質) 定時制と通信制は増減なしなのですか。

(答) そうです。増減なしです。

(質) 8校で1学級ずつ減って、2校で増えたのですね、松阪と宇治山田商業は、学級数が増えたと。プラマイでマイナス6ということですね。

(答) そうです。

(答 教育政策課長) 8校なのですけども、そのうちの白山と尾鷲は、それぞれ25人と15人の減ということになりますので、合わせて40人というのが1校混ざります。

(質) 人数の話ですか。

(答 教育政策課長) 学級数の減ということで、1学級減となるのが、四日市西、朝明、四郷、川越、神戸、稲生、上野の7校になります。これが1学級の40人の減になります。

そして白山と尾鷲で合わせて40人の減になりますので、8校で、8学級減というところと正確ではございません。7校7学級減と、2校合わせてさらに1学級減が正確です。

(質) でも、尾鷲は学級数が変わらないじゃないですか。

(答 教育政策課長) そうですね。学級減は6学級減です。

(質) 増やした学校の事情というのは何かあるのですか。人数が多いというだけなのか、それとも何か特別な学級をつくったとか。

(答) 特別な学級はつくっておりません。松阪と宇治山田商業については、来年度も人数が増える見込みですし、昨年度も少し増えています。

(質) 地元の中学生の数が増えているのですか。

(答) そうです。

(質) これは、私学協会の発表も一緒に資料提供があったのですが、これは昨日、7月7日付になっていますが。

(答) 環境生活部に確認をし、私学協会は今日記者クラブに発表しました。

(質) 詳細は県教委のホームページでいつから見られるのですか。

(答) ホームページは明日からです。

○ 令和5年度三重県立高等学校入学定員について

(質) 入試を実施するのはどこを見たらいいのでしょうか。

(答) 時期でしょうか。

(質) 学科数とか学校数とか

(答) この報告3の1ページを見ていただきますと、1ページの一番上の位置ですけれどもここに全日制課程54校127学科コースで、定時制がその下に書いてございます。

以上、15時14分終了